

## 会議録

会議の名称	第5回所沢市教育振興基本計画審議会
開催日時	令和6年1月16日(火)午後2時30分～3時45分
開催場所	所沢市役所6階 604会議室
出席者の氏名	松森 有美、三原 由紀子、古山 智啓、新井 政明、柏崎 年己、赤堀 侃司、及川 道之、伊東 真吾
欠席者の氏名	中川 瞬、井上 典之、吉川 英一、小倉 理恵
説明者の職・氏名	教育長 中島 秀行、教育総務部長 千葉 裕之、 学校教育部長 中田 利明、教育総務部次長 池田 淳、 社会教育担当参事 糟谷 苗美、学校教育担当参事 吉川 誠、 教育センター担当参事 中村 啓、教育総務課長 鈴木 健、 教育総務課主幹 北村 史恵、教育施設課長 遠山 秀仁、 スポーツ振興課長 三上 佳明、文化財保護課長 稲田 里織、 所沢図書館長 橋本 浩志、保健給食課長 渡辺 純也、 教育総務課主査 名雪 晋祐、教育総務課主任 新井 航、 教育総務課主任 田島 郁美
議 題	1 開会 2 教育長挨拶 3 議事 第3次所沢市教育振興基本計画 答申について 4 連絡事項 5 閉会
会議資料	・次第 ・座席表 ・第3次所沢市教育振興基本計画(答申) ・第3次所沢市教育振興基本計画(素案)に対するご意見と市の考え方について
担当部課名	教育総務部 教育総務課 電話:04-2998-9232

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局 教育長 会長	1 開会 2 教育長挨拶 3 議事
事務局	※傍聴者なし。 第3次所沢市教育振興基本計画 答申について説明
会長	意見・質問があれば発言いただきたい。
委員	意見なし。
会長	審議は以上とする。
事務局	会長から中島教育長に答申をお願いしたい。
会長	（答申書朗読）
教育長	挨拶
事務局	続いて、各委員から、会議に参加しての感想や、今後の所沢市の教育に期待することなどについて、一言ずつご挨拶をいただきたい。
委員	計画は6月の審議会で示された素案から比べると、非常にわかりやすくまとめられており、読みやすいと思った。教育委員会が子ども達のために考えていることが多く書かれているので、これが次々と後世に伝わり、所沢市で良い教育が着々となされていけば良いと思う。
委員	私は日頃社会教育に携わっていて、組織の長として活動する機会もある。そのような経験を通して感じるのは、現場では苦しいこともあるけれど、それでも「こうやっていこうよ」と、それが実現できるか、理解してもらえるか分からなくても、理想を語っていかなければならない、ということである。子ども達、若い人達に良いことをやはり伝えていかなければならないと思う。このような場で皆さんが意見を出し「こう進めていきたいよ」という思いで作ったこの計画を、少しでも多くの人に知らせていければと思う。教育委員会も計画の周知に努めてもらいたい。
委員	環境が刻一刻と変化する中、基本となるものがないと時代に流さ

	<p>れてしまうと思う。変化の激しい状況の中、この基本計画をベースに各事業を進めてもらいたい。</p>
委員	<p>文化や歴史は数値目標を立てづらい分野であると思う。文化や歴史に関わるものを見る機会や聞く機会が増えることで、郷土を愛する心を養うことに繋がれば良いと思う。</p> <p>また、計画に掲載されている写真のトリミング方法を工夫すると、より写真が活き、見る人に伝わりやすくなると思う。</p>
委員	<p>小中学校校長会の代表として参加した。教育現場には、課題や、やらなければならないことが山積していると感じている。</p> <p>目標5の指標として、不登校児童生徒の割合の低下が掲げられている。家庭の価値観や考えが多様化している中、不登校児童生徒を減らすことは難しい課題だと思っている。</p> <p>目標6にコミュニティ・スクールや家庭教育関連事業について記載があるが、家庭や地域の教育力の低下が叫ばれている中で、学校に何ができるかを改めてよく考えていかなければならないと思った。</p> <p>目標4の指標として、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対し、「思う」と答える児童生徒の割合を高めることが掲げられている。自己肯定感の醸成には特に力を入れて、「私はこれで良いんだ」「私はそれなりにできている」と思える子ども達を育てていきたいと思う。所沢市の教育に携わる一員として、この計画を頭に入れながら、校長の立場で推進したいと思う。</p>
委員	<p>読みやすい計画に仕上がっていると思う。</p> <p>部活動に関しては非常に興味を持って計画を読んだ。部活動の地域移行について、来月埼玉県で意見交換会があると聞いている。スポーツ庁や文化庁も予算を確保し、実証を進めている。地域のスポーツクラブやスポーツ協会、スポーツ推進委員会などとタイアップして進めているという話も聞いているので、機会があれば子どものスポーツの推進に携わり、協力したいと思っている。</p>
副会長	<p>これからの子ども達を守りたいと感じている。教育委員会には、時流を取り入れた教育を行う際に、少し立ち止まって考えてもらいたい。例えば、非認知能力や多様性の視点を取り入れた教育などを、きちんとブレーキを踏んで考えてから行うようにしてほしい。子ども達が一旦立ち止まって物事を考えられる大人に育つよう、人間の素養を育ててほしい。ぜひ、所沢モデルを確立してもらいたい。</p>

<p>会長</p>	<p>元日に大地震が起こり、現場が悲惨な状況の中でも、自分を見失わずに助け合う姿を見て、大変な状況でもそれを乗り越えていこうとする日本人の持つ力の素晴らしさに感心した。これは、脈々と伝えられてきた教育の力だろうと思う。</p> <p>教育現場はおそらく大変な苦勞をしていると思うが、どのような状況でも夢や希望を失わず、掲げた理想に向かっていこうとする姿勢が大切だと思う。この教育振興基本計画は、目標を掲げ、こういう理想に向かっていくのだというビジョンである。今回の計画に掲げた10個の目標を忘れずに教育を推進することで、苦しい状況を乗り越えることができると思う。</p> <p>また、昨今の子ども達は人間関係に気を遣っているように感じる。学校を、子ども達が気を遣わずに安心して人と話すことや、質問や相談をすることができる環境にしてあげないと、この世の中では生きづらくなっているような気がする。</p> <p>長年日本人が持ってきた美德を大切にしつつ、デジタル化の進展等で激しく変化する社会や災害の発生など、困難な状況においてもくじけずに生きていく、大変でも平穩に頑張っていく、という両面が今求められていると強く感じる。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 連絡事項</p> <p>5 閉会</p>